

「淡路島から、土の恵みを食卓へ。」

会社概要

会社名	株式会社M & Iメンテサービス
本社所在地	〒656-0143 兵庫県南あわじ市中条中筋132
TEL & FAX	TEL：0799-38-6114 FAX：0799-38-6115
代表取締役社長	丸山 生朗
会社設立	2017年11月2日
資本金	1,000,000円
事業内容	農産物の製造、加工、貯蔵、運搬及び販売
圃場面積	約14ha
取引銀行	神戸信用金庫、あわじ島農業協同組合、楽天銀行
e-mail	info@mi-mente.co.jp
HP	https://ikutama-mi.com/



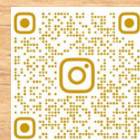
淡路島たまねぎ「いくたま」

淡路島は国生み神話の舞台の島としても知られている地ですが、そうした神話にまつわる「生魂（いくたま）」という言葉があります。これは生命を活発に産み出し、栄えさせる霊力を意味するものです。当園自慢の玉ねぎが、この言葉にふさわしく、張りのある美しい玉ねぎに育つよう願いを込め、弊社代表の名を冠する“いくたま”をブランド名として名付けました。私たちは魂を込めて育てた幾多の玉ねぎをお届けすることで、人々のいきいきとした生活に貢献していきます。

公式HP

オンラインショップ

インスタグラム



株式会社M & Iメンテサービス

兵庫県淡路島で農園を展開。 地域の活性化に貢献しています。

私たちM&Iメンテサービスのメインとなる事業は農園経営。
その中核となるのが一九六農園（いくろおのうえん）です。
兵庫県の玉ねぎの生産量は全国第3位で、兵庫県で生産されている玉ねぎのほとんどは淡路島たまねぎです。
淡路島の中でも特に玉ねぎの生産が盛んな南あわじ市。
一九六農園はこの南あわじ市を拠点に玉ねぎを生産しています。



淡路島の農地を守り、次世代へ。 耕作放棄地から育む伝統の味。

私たちは農業法人として、管理が行き届かなくなった土地をお借りし、伝統の「淡路島たまねぎ」を育てていくことで、淡路島の農業を守っていきたくて考えています。地域の皆さまからお借りする土地には、耕作放棄地も含まれています。それぞれ条件が違うので、畑に合わせた土壌改良を行っています。
自然の牛糞堆肥や、菜種油粕といった地域由来の有機肥料を取り入れ、循環型農業に取り組むとともに、淡路島のブランド野菜「淡路島たまねぎ」の品質向上に努めています。

一貫した温度・湿度管理で、 年間を通して安定した「おいしさ」を。

玉ねぎにはさまざまな品種があり、それぞれに特徴があります。
当園でも多品種を生産しており、時期によって管理方法を変えています。
また玉ねぎ栽培は天候や貯蔵病害（灰色腐敗病・黒かび病等）の影響を受けることがあります。
当園では乾燥機能付き冷蔵貯蔵庫を導入し、玉ねぎの状況に応じて適切な温度・湿度管理を一貫して行うことで、病害を抑制し、年間を通して高品質で安定した玉ねぎの供給を可能にしています。



※冷蔵貯蔵庫概要
床面積 約600㎡ 冷蔵倉庫3室

『もったいない』を『価値』に変えて。 自然の恵みを余すことなく、食卓へ。

収穫時の傷や皮剥けなどにより規格外となる玉ねぎは、ドレッシングなど加工品の原料として活用し、廃棄ロス削減にも積極的に取り組んでおります。
私たちは、玉ねぎを通して農家の思いや環境への取り組みも感じていただきながら、淡路島の豊かな恵みをお届けします。



産直にこだわった直営店から 淡路島の恵みを、もっと身近に。

196Marche（イクローマルシェ）



南あわじの農産物を中心に、
全国の旬の新鮮な野菜・果物を販売

196Marche DELI（イクローマルシェ デリ）



当園で育てたお米を使ったおにぎり、
淡路島玉ねぎの旨みが詰まった唐揚げなどを販売

主力商品

淡路島たまねぎ「いくたま」



●一般の玉ねぎより格段に甘くみずみずしいのが特徴
※「淡路島たまねぎ」地域団体商標 第5367312号

淡路島たまねぎ「いくたま」を100%使用した
「ほぼ玉ねぎなシリーズ」



●余分なものは加えず素材本来の甘みとコクを活かした、
保存料・着色料・増粘剤無添加の調味料
※「ほぼ玉ねぎな」は株式会社M&Iメンテサービスの登録商標

生産計画

【玉ねぎ】	
博多黄金（極早生）	4,300㎡
濱の宝（極早生）	3,300㎡
EXスター（極早生）	4,300㎡
レクスター（極早生）	6,000㎡
七宝（早生）	8,200㎡
アンサー（中生）	36,100㎡
ターザン（中生）	54,700㎡
もみじの輝（晩生）	8,600㎡
ネオアース（晩生）	4,300㎡

【お米】	
ほしじるし	
キヌヒカリ	計60,000㎡
ヒノヒカリ	
【キャベツ】	
	20,000㎡
【白菜】	
	5,000㎡

玉ねぎ年間生産量
2025年実績 約480 t
2026年予定 約520 t

